

教育委員会定例会（平成23年11月）会議録

1. 日 時	平成23年11月10日（木）16:00～18:00
2. 場 所	新居浜市庁舎3階 応接会議室
3. 出 席 者	委員長 三木 由紀子 委 員 伊藤 嘉秀、宇野 征一、太田 恵理子 教育長 阿部 義澄 事務局長 高橋 康文 総括次長 関 福生 次 長 坪本 道夫、坂本 睦美 課 長 藤田 秀喜、曾我 幸一、木村 和則、伊藤 繁次郎
4. 教育長の 一般報告	教育長の報告 10月分行事報告及び11月分行事予定について その他
5. 記録者氏名	社会教育課 上野 壮行
6. 会議の概要	<議 案> 議案第39号 新居浜市郷土美術館協議会委員の任命について 議案第40号 平成23年度新居浜市教育委員会点検・評価報告書について <その他> 中学校選択制の申請状況について

<p>三木委員長</p>	<p>それでは、定刻がまいりましたので、ただ今から平成23年第11回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は、宇野委員さんと太田委員さんをお願いいたします。</p> <p>会期は本日限りといたします。</p> <p>平成23年第10回定例会会議録の承認につきましては、伊藤委員さんと宇野委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>それでは、教育長の一般報告をお願いいたします。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>10月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>7日 第29回愛媛県私立幼稚園教育研究大会が、「幼児教育の成果を社会に示そう～人間形成は幼児期の生活とあそびから～」の大会主題のもと、新居浜市の7つの私立幼稚園を公開保育会場として開催されました。会場となった幼稚園では、各園の特色が発揮された内容でした。</p> <p>9日 南海トラフを震源とする地震が発生したと想定し、上部地区自治会が参加しての平成23年度新居浜市総合防災訓練が、山根市民グラウンドを会場に、災害対策本部設置及び運営訓練として実施されました。また、8日から9日にかけて、大生院公民館で一泊二日の避難所体験訓練が実施されました。</p> <p>9日と10日 第42回新居浜市民体育祭の競技スポーツの部が、バレーボールをはじめとして26種目において盛大に開催されました。</p> <p>11日 福祉教育委員会協議会が開催され、5月以降の事務概要説明時からの本年度の重点事業等の進捗状況について説明が行われました。</p> <p>13日 静岡県掛川市議会の議員さんが、行政視察として発達支援課へ「発達障害の子どもへの一貫した支援体制の整備」についての調査に来られました。</p> <p>第61回平成23年度美術展覧会の搬入があり、8部門において475作品が出品されました。写真、デザインの部門に中・高校生の出品者の増加がみられました。前期展が日本画・写真・華道・工芸の部で22日から27日まで、後期展が洋画・書道・版画・デザインの部で29日から11月3日まで開催されました。また、3日に授賞式が執り行われ、市長賞ほか5つの賞で82名が受賞されま</p>

した。入場者数は、前・後期を含め、昨年より464名増加し、3,394名でした。

14日 平成23年度中学生海外派遣事業アメリカ訪問団結団式及び壮行会が佐々木市長、高橋市議会副議長、保護者、学校長が参加して執り行われました。今年度は「Imagine What We Can Do Together みんな友達」をスローガンとして、29日から11月8日までウィスコンシン州フランクリン市の家庭にホームステイし、現地の小・中・高校での学校生活を送りました。貴重な体験とともに友情の輪を広げることができたと思います。

「空飛ぶ車いすin韓国10周年記念式典」が、韓国からは、社会福祉法人こども財団会長 李済薫（イゼフン）氏、経営企画室長 李光文（イクアンムン）氏、社会福祉法人家庭福祉会家庭総合主会福祉館館長 朴菩提（パクポーリ）氏等、他3名の方々の参加を得て、新居浜工業高等学校で開催されました。「空飛ぶ車いす」ボランティア活動は、平成11年に市内の総合福祉施設「やすらぎの郷」から古い車いすを譲り受け、工業高校の技術・技能を活かし修理・再生して、車いすの不足しているアジア諸国の福祉団体に寄贈するボランティア活動への参加提案があり、機械科機械同好会を中心として全校に呼び掛け、VYS部（元VYS同好会）によって年間を通して活動が続けられております。

16日 第14回日本たぬき学会新居浜大会が、滋賀県甲賀市信楽町・長崎県長崎市・徳島県鳴門市・香川県観音寺市・松山市等日本各地の有名たぬきの所在地から愛好家が参加して新居浜市地域交流センターで開催されました。

17日 新居浜市地域交流センター（旧金子公民館）が姉妹館として交流している埼玉県入間市の金子公民館から「遠くても厚い友情」のテーマのもとに、加藤雅久入間市金子公民館館長、栗原桂一金子文化協会会長さんら9名と、金子一族を研究している前橋市の金子本次氏を含めて10名の方々の訪問がありました。公民館運営審議会委員・公民館館長さんらが出席され、市民活動としての交流が深められました。

19日 第66回国民体育大会山口大会ゴルフ競技の部で、女子個人成績で8位入賞をした南中3年鴻上ほの花さんが、佐々木市長に入賞の喜びを報告してくれました。

20日 第47回新居浜市小学校陸上記録会が河川敷陸上競技

場で開催されました。市内のすべての小学校が参加し、放課後の特別練習などで鍛えられた学校代表の選手たちが熱い思いで日頃の成果を発揮してくれました。当日は天候に恵まれたこともあり、特にトラック競技においては、標準記録を突破する選手が多数見受けられました。個人種目の4位までの入賞者と400mリレーの上位4校が、新居浜市代表として11月7日の愛媛県小学校陸上記録会に参加しました。結果は、ソフトボール投げでは男子、女子ともに1位、走り高跳びと走り幅跳びで女子が入賞するなど、気温が低く肌寒い中、選手たちはよく健闘し、好記録を残しました。

22日 平成23年度中学生海外派遣事業アメリカ訪問団の7回目の研修として、本市の交流事業の橋渡し役をしてくれているアメリカ国籍の伊藤幸男氏にアメリカでの学校生活や家庭生活等の説明をしていただきました。派遣団員や保護者にとって大変参考になりました。

平成23年度第56回秋の芸術祭の第1部が開催され、11月3日までの期間に第5部まで開催されました。

23日 第4回にいはまお手玉遊び市民大会が「銅夢にいはま」を会場として開催されました。市内外から、小学生から成人まで約100名が競技者として参加していました。また、ボランティアスタッフとして、教育委員会からも各課長が参加してくれていました。ご苦労様でした。

25日 少年消防クラブ防火ポスター展の審査会が開催されました。市内各小学校から726点の応募があり、優秀作品や入賞作品が選出されました。少年消防クラブは15の小学校で結成されており、防火ポスター展は昭和50年から37回目となります。11月7日から15日までイオンモールで展示が行われています。

第66回国民体育大会山口大会に参加し、見事優勝や入賞された選手のみなさんが、その喜びや競技中の様子等を市長に報告に来られました。

26日 平成23年度愛媛県特別支援学級設置学校長管内研究協議会が浮島小学校を会場として開催されました。

27日 平成22年度決算に係る決算特別委員会教育委員会関係が開催されました。

29日 新居浜市中学生海外派遣事業アメリカ訪問団「Imagine What We Can Do Together みんな友達」に参加する中学生の出発式が行われ、元気にバスに乗り

込んで行きました。これまでの研修を活かして、若い感性のもと、11日間の貴重な体験を積みました。

30日 にはまやんちゃKIDS2011が「あつまれ！愛顔のこどもたち」というテーマのもと、山根総合体育館で開催されました。園児や児童が親や祖父母と共に参加し、市内の主任児童委員さん、愛媛県総合科学博物館友の会科学クラブのみなさん、市内の東高校、南高校、工業高校、商業高校、工業高等専門学校、西高校、児童センター地域活動クラブ、まごころの会等の130名のボランティアの協力を得て、用意された17のゲームを楽しんでいました。

身体障害者チャリティー第28回ウエイト制オープントーナメント全日本拳武道選手権大会が市民体育館で開催されました。小学生から成人までの予選を勝ち抜いてきた選手たちの激しい闘いに、日頃の練習の成果と厳しさを感じさせられました。

校区文化祭が浮島・惣開校区で開催されました。

11月1日 子どもたちの健やかな成長を願って、県民総ぐるみで教育について考え、行動する契機となる日として制定された「えひめ教育の日」の記念として、「えひめ教育の日推進大会」が松山市エスポワール愛媛文教会館で開催されました。三木委員長さんに出席していただきましたので、後程ご紹介していただければと思います。

平成23年度市町村教育委員会研究協議会の第2ブロック大会が、2日までの日程で鹿児島市で開催され、伊藤委員さんが参加されました。こちらも、後程ご紹介していただきたいと思います。

2日 平成22・23年度文部科学省指定人権教育研究指定校研究発表会が金子小学校で開催されました。

3日 第26回新居浜市駅伝競走大会兼第55回新居浜市中学校駅伝競走大会が開催されました。上位チームの結果は、中学男子は、1位角野中A、2位川東中A、3位中萩中A、中学女子は、1位東中A、2位川東中A、3位西中Aとなりました。11月23日の県駅伝大会へ参加するチームには、さらにチーム力の向上を図り、コンディションづくりに配慮して、記録を伸ばしてもらいたいと考えております。

4日～6日 県中学校新人大会が開催されました。

6日 校区文化祭が新居浜・高津・多喜浜・船木・大生院・角野校区で開催されました。また、地域主導型公民館の取り組みとして、

	<p>泉川公民館で公民館祭りが開催されました。</p> <p>7日 平成23年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰に、泉川中学校支援地域本部が選出され、文部科学省講堂において表彰式が執り行われました。地域の「まちづくり協議会」と連携し、住民全体を巻き込んだ取り組みとするほか、「まちづくり新聞」の発行などを工夫したり、余裕教室を地域住民が活動する拠点として開放し、子どもたちが地域の大人たちとの交流の場となっていることが評価されました。</p> <p>8日 深夜でしたが無事、中学生海外派遣事業アメリカ訪問団が帰着いたしました。出迎え大変ご苦労さまでした。</p> <p>9日 平成23年度新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会が小学校では泉川小・金栄小・角野小・中萩小、中学校では大生院中・泉川中・西中・東中を会場として開催されました。今年度から研究授業を地域の方々や人権同和教育を推進しているの方々へも公開することにいたしました。</p> <p>第60回秋季県展新居浜移動展が11月20日までの日程で開催されています。</p> <p>10日 教職員物故者慰霊祭が5年振りにしめやかに催されました。</p> <p>その他、11月の主な行事予定について報告を申し上げます。</p> <p>11日 小・中学校音楽発表会（市民文化センター） 平成23年度青少年健全育成推進ブロック新居浜大会（ウイメンズプラザ）</p> <p>12日 第4回中学生トップアスリート事業（卓球）（市民体育館） 県中学校新人大会（サッカー・野球・ソフトボール） 第2回「別子銅山を読む」講座（別子銅山記念図書館）</p> <p>13日 校区文化祭（宮西・金子・金栄・若宮・垣生・神郷・大島・別子山）</p> <p>17日 ハートなんでも相談員等連絡協議会</p> <p>18日 郷土美術館運営協議会</p> <p>20日 第6回こころのことばコンクール（ウイメンズプラザ） 校区文化祭（中萩）</p> <p>21日 第2回小・中学校校長研修会（瀬戸会館）</p> <p>22日 あすなる教室進路相談会</p>
--	---

	<p>23日 第31回県中学駅伝競走大会兼第19回全国中学校駅伝大会予選会 図書館まつり（別子銅山記念図書館）</p> <p>24日 小・中学校教科外研修会</p> <p>25日 科学奨励賞1次審査会 学力向上プロジェクト中間発表会（泉川中）</p> <p>26日 平成23年度特別企画展「平山郁夫展～次世代への伝言」（郷土美術館）（～12月25日）</p> <p>27日 教育会土曜寺子屋発表会（文化振興会館）</p> <p>29日 第2回不登校対策検討委員会</p> <p>30日 県人権・同和教育訪問（高津小） 学校力アップ実践研究事業中間研究発表会（神郷小）</p> <p>以上で、一般報告を終わります。</p> <p>ただ今の教育長さんの一般報告で、何かご質問やご意見はございませんでしょうか。</p> <p>まず、1つ追加させていただきたいと思います。10月29日から11月8日まで行いました中学生の海外派遣事業で、先程報告しましたが、全員無事、元気に役目を果たして帰ってきました。</p> <p>なお、平成19年から5カ年間の協定で行って来ました事業について、フランクリン市教育委員会と協定をして、新たに平成24年から平成28年までの5カ年間続けることを調印してまいりました。以上です。</p> <p>はい、ありがとうございます。お疲れさまでした。 他に、ご意見やご質問はございませんでしょうか。</p> <p>はい、先月の終わりに秋の芸術祭がありまして、その中でいろいろな出し物があったのですが、合唱の部というのがありまして、聞かせていただきました。小学生から熟年までというか、孫からおばあちゃんまでの声が1日のうちに聞けるということで非常に珍しい発表会だったのではないかなと思います。その中で、中学校は何校か出ていましたが、角野中学校が40・50人くらいだったと思いますが、全体で大挙してきて、一生懸命歌っていました。孫の声は孫の声で、おばあちゃんの声はおばあちゃんの声でいいのです</p>
三木委員長	
阿部教育長	
三木委員長	
宇野委員	

	<p>が、やはり若い人達の声の張りというのは素晴らしい感動でした。</p> <p>最後に私の好きな「赤とんぼ」を全体で合唱してくれまして、痺れました。あと、帰りのことなのですが、文化センターから東城の交差点まで角野中学校の参加していた子どもたちをたくさん追い抜いたのですが、ヘルメットをかぶっていない人が1人も居なくて、合唱も素晴らしい、帰る時のマナーも素晴らしくて、嬉しくなりました。次の日に校長先生に報告しました。歌も素晴らしかったけれども、後の態度が素晴らしかったということで、是非聞いていただきたいなと思いましたし、新居浜にも良い子がいるのだなと思いました。以上です。</p>
三木委員長	<p>はい、ありがとうございました。他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>はい。</p>
三木委員長	<p>それでは、先程の教育長の一般報告にありました1日・2日に出席した、えひめ教育の日と研究協議会の報告に入ります。</p> <p>それでは、私の方から「えひめ教育の日推進大会」の報告をさせていただきます。松山のエスポワール愛媛文教会館にて行われました。最初に、えひめ教育の日推進宣言文の朗読から入りまして、児童・生徒さん達のポスター・作文・エッセイ・コンクールの表彰等や、記念講演がありました。講師の先生は早稲田大学の三村隆男先生で、演題は「キャリア教育は地域を変える 未来に飛躍する子ども達のために」でした。このキャリア教育は、それぞれの学校でされていると思いますが、この先生は小・中・高・大連携ということでされているようでした。まず、基盤とするのは、上越市というコミュニティで、その中で小学生・中学生・高校生・大学生が、それぞれできることを活かしながら地域の中で役割を分担する。小学校が、どういうことをやっているかというのは、栽培した物を実際にお店で売ってみたりですとか、高校で開発したプリンを試食して名前を考えたり、オリジナルスタンプカード等を作成、その中で、例えば中学生とか高校生とか、もちろん大学生や地域の方もそういう活動に入り込んで、指導しながら一緒に活動するということがされておりまして。中学校においては、1年生172名、5クラスを縦にグループ分けをして、そのグループが商品売っていくうえ</p>

伊藤委員	<p>で、1番目がネーミングと商標権、2番目が広告と宣伝の文章を書く、あとはビジネスマナーや商店街の歴史を学ぶ、地域食材を活用した商品開発という5グループに分けて、その中でも、高校生とか商業生の方たちの実際にやってらっしゃることなんかも含めながら、中学生・高校生と一緒に活動していました。高校生はそれを刺激としながら、中学生はその高校生の姿を見て近い大人のような感じで見えていく。そこに地域の方も協力していく。地域ぐるみで小・中・高・大、それぞれの良さを活かしながら進めていく。それをキャリア教育としているということでした。その教育を通じて、子どもたちの生きる力、自分の持っている力をどれだけ出し切るか、生きる力に繋がれたらいいなというお話で、大変興味深く聞かせていただきました。以上です。</p> <p>それでは、続きまして伊藤委員さんより、お願いいたします。</p> <p>私の方は、11月の1日・2日に鹿児島で行われました市町村教育委員会研究協議会の方へ出席させていただきました。初日は文科省の初等中等教育の教育行政の現状についての報告がされました。その後、記念講演。そして2日目がパネルディスカッションと3つに分かれまして、分科会が行われました。私は、特別支援学級についての分科会に出席させていただきました。全体といたしまして、文科省の報告、また記念講演・パネルディスカッション、分科会は専門でしたが、どの部分にも特別支援学級についての話題が必ず出てくるという現状でした。特にどの行政も、また国も認識しているようですが、支援が必要かどうかということの判定を必要とする生徒さんが非常に増えてきていると。それに対する行政の対応といたしまして、学校・病院との連携や、あるいは各課、施設の連携をしまして、また人員の増強が必要ではないかというような課題があるようです。できるだけ早くスピード化を図って判定が出るような仕組みを作らなければいけないという話題が、どの部分にも出ておりました。特に分科会の方では、特別支援学級についての話題で分科会を開いていただいたのですが、鹿児島の2つの教育委員会の報告のあとに参加者からの意見を皆で出し合ったのですが、その意見が非常に多くて、中には、私は認識していなかったのですが、教育法によって今、国公立の高校では特別支援学級が設置できない、中学校まではできているので早く法改正をしてほしいという要望も挙がっておりました。また、痰吸引の介護者が痰吸引できるという法</p>
------	---

	<p>改正がされたと思うのですが、痰吸引の研修を受けた介護者を雇用するための人件費を、国から助成して頂けるように要望してはという意見も出ておりました。非常に熱い議論が出て、私自身も認識不足のところがございます、非常に勉強になった2日間でした。以上です。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>では、議案審議に入りたいと思います。本日の議案は、議案第39号及び議案第40号の2議案ですが、議案第39号は人事案件ですので、新居浜市教育委員会会議規則第37条の規定により、この会の最後に非公開で審議させていただきたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>はい。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>ご異議がございませんようですので、最後に非公開で審議させていただきます。</p> <p>それでは、議案第40号「平成23年度新居浜市教育委員会点検・評価報告書について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>関総括次長</p>	<p>はい。議案第40号「平成23年度新居浜市教育委員会点検・評価報告書について」ご説明いたします。</p> <p>議案書の10ページをお開きいただきたいと思います。新居浜市教育委員会点検・評価報告書につきましては、平成20年度から実施いたしており、今回が4回目ということになります。今回は、平成22年度に実施いたしました教育委員会所管の施策事業73事業につきまして自己点検評価を行ったのち、その中で特に重点的に取り組んでおります事業15事業に絞り込みまして、讃岐幸治氏、今井基博氏、小野トヨミ氏の3名の学識経験者からいろいろご意見・ご助言をいただいたものでございます。それらの意見を踏まえ、今後の取組につきまして、方向性や教育委員会関係の色々な情報等をこの報告書にまとめたものでございます。お手元にお配りしております報告書をご覧いただけたらと思います。報告書につきましては、2章に構成をいたしております。第1章におきましては平成22年度から教育基本方針から始まりまして、各課がそれぞれ行いました点検・評価の内容について、その結果を載せております。そし</p>

	<p>て、第2章におきましては教育委員会の活動報告について記述いたしまして、最後に参考資料として、現在の組織図・職員数等を掲載しております。学識経験者である3名の委員の皆さんからいただきました、それぞれの意見につきまして、各課から今後の対応の方向性を簡単に説明させていただき、皆様方のご審議を経た上で当報告書を議会へ提出してまいりたいと考えております。</p> <p>また、この報告書は、現段階のもので、今後、若干字句の修正等も予想されます。それにつきましては、この場でご承認をいただいた上で、この後事務処理を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、当報告書につきましては議会提出後、新居浜市のホームページ等におきまして、市民の皆様にご覧いただき、ご意見を求めてまいりたいと考えております。このような情報開示を行い、市民とともに進める活動にもってまいりたいと考えております。この後、各課からそれぞれの事業における学識経験者の意見・評価等を踏まえた今後の取組の方向性について説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>まず、はじめに社会教育課の方から説明をさせていただきます。 <資料に基づき説明></p> <p>藤田学校教育課長 続きまして学校教育課の関係でご説明させていただきます。 <資料に基づき説明></p> <p>曾我発達支援課長 続きまして発達支援課の方からご説明させていただきます。 <資料に基づき説明></p> <p>木村スポーツ文化課長 続きましてスポーツ文化課の関係を説明させていただきます。 <資料に基づき説明></p> <p>伊藤学校給食課長 続きまして学校給食課からご説明させていただきます。 <資料に基づき説明></p> <p>坂本次長 次に図書館について説明させていただきます。 <資料に基づき説明></p> <p>関総括次長 最後に全体評価についてご説明させていただきます。 <資料に基づき説明></p>
--	---

三木委員長	はい、ありがとうございました。ただ今のご説明で、何かご質問やご意見等はございませんか。はい、伊藤委員さん。
伊藤委員	はい。聞き逃しかもしれないのですが、図書館の支援員さんは来年度も要望を挙げていくということですか。
坂本次長	先日、企画財政会議にかけまして、平成23年度は緊急雇用で学校図書館支援員を雇っているという状況ですが、来年度も財政的な面から現状の4名を学校図書館支援員として雇用するという事は決まっております。
三木委員長	よろしいでしょうか。
伊藤委員	はい、ありがとうございました。
三木委員長	他に、何かございますか。よろしいでしょうか。
委員一同	はい。
三木委員長	<p>それでは、議案第40号について、ご承認いただけます方は挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>はい、ありがとうございました。それでは、承認とさせていただきます。</p> <p>続いて、その他に移ります。「中学校選択制の申請状況について」事務局からご説明をお願いいたします。</p>
藤田学校教育課長	<p>はい。平成24年度「中学校選択制度」申請等の状況という資料をご覧ください。</p> <p>10月31日をもって選択制度の申請を終えたわけですが、この状況をご説明いたします。</p> <p>まず、来年度の中学校1年生の入学予定者です。10月1日現在で、1,185名となっております。今回、中学校選択制度を申請した者が64名でございます。割合でいうと5.4%でございます。この制度が開始された平成16年度からの状況ですが、平成16年</p>

<p>三木委員長</p> <p>委員一同</p>	<p>度が23名、17年度が27名、18年度が41名、19年度が65名、20年度が76名、21年度が55名、22年度が82名、前回は63名でございました。そして、今回は64名ということで、ほぼ60名前後で推移をいたしております。今回、この表をご覧になって分かると思うのですが、西中学校の希望者が38名ということで、西中学校の来年度の指定学校の入学予定者が93名です。ハード面の関係もございまして、西中学校の受け入れ可能の人数が17名です。17名をはるかに超えてしまったので、今度の土曜日の12日に抽選を実施いたします。38名のうち兄・姉が既に西中学校へ通っている生徒が7名いますので、残り17引く7ということで、10名枠となっております。31名で、その10名枠の抽選を行うということでございます。</p> <p>続いて、南中学校も非常に増減が激しいのですが、この南中学校の減分25名の方、全て西中学校への希望を出しております。南中学校の受け入れ枠、人数が5名でございますので、抽選結果によるのですが、推定では南中学校は抽選をしなくてもいけるであろうということでございます。</p> <p>続きまして、その裏面のアンケートの集計結果をご覧ください。まず、Q1の中学校の選択基準ですけれども、昨年と同様の結果になっておりますが、多いのが（ア）自宅から近く、通学に便利だから、（オ）「希望する部活動がある・教育方針がよいから」、あと（キ）「学校の伝統・校風・雰囲気がいよから」というところが多くなっております。</p> <p>Q2の主に誰の意見・意思で中学校を選びましたかという問いに対しては、子ども本人が60.9%、親子で相談してというのが32.8%で、子どもあるいは親子で相談をして希望をしているということが分かります。</p> <p>Q3の中学校の情報をどのようにして得ましたかという問いに対しては（ア）「夢を育む新居浜市の中学校」（この冊子）を読んだと、（カ）親せき・知人・地域の人などの話を聞いてということが高くなっております。以上です。</p> <p>ただ今のご説明に関しまして、何かご質問やご意見等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p>
--------------------------	---

三木委員長	その他、何か連絡事項等ございませんでしょうか。
伊藤学校給食課長	<p>はい、学校給食課の方から定例の報告をしておきます。2枚のプリントがあると思います。まず、横の裏表の表ですが、学校給食費未納状況の10月末現在ということで、一覧表を作っております。</p> <p>平成23年分、10月末現在、小学校で1,417,810円、中学校で22,089円、合計金額1,439,899円という結果が出ておまして、昨年と同時期と比べますと、大体似通った未納金額です。ただし、高津小学校・神郷小学校・中萩小学校が随分多いのですが、前回報告をさせていただいた未納者に対する支払い督促の申し立てや強制執行の影響により、新たな未納者が随分減っております。ですから、額面上は同等ではありますが、新たな未納者が減っておるといようなことが伺えました。ただし、気にかかるのが宮西小学校の13名で、133,270円という金額です。ここは事情を聞きますと、2名のみ特別な未納者がおまして、あとは遅れがちという感じでございますので、一層の働きかけをお願いしたいということをお願いしております。続いて、裏のページでございます。名前等は書いておりませんが、強制執行をさせていただいた状況でございます。右から2番目の数字が強制執行した額でございます。1番上が103,620円に対して口座を抑えたところで52,201円、強制執行させていただいた額ということでございます。2番目がゼロ、3番目が6,342円、6・7番目が993円、13・14番目が156,000円、17番目が38,562円、これは給与を差し押さえるということになり、全額支払うということになっております。24番目が55,372円、これは強制執行額を見ていただくと額が上がっておりますが、家庭裁判所や地方裁判所による申請料や郵送料がかかっておるといことをご理解ください。6・7・11・12・15・16番というところなのですが、強制執行をかけた10月7日にタイムラグがございまして、強制執行をかけられるのは営業が始まった時間、銀行が9時なのですが、ATMであれば振込が12時から始まりまして2時くらいまでに終わってしまいます。子ども手当を振り込んだのですが、その営業開始時間までに引き落とされたのではないかと考えられますので、こういう金額になっております。今回、強制執行させていただいたものの今の段階なのですが、この後、不足額につきましては職場の方へ債権の差し押さえ、最終的にはそこで全</p>

	<p>て支払っていただくというかたちをとってまいりたいと考えております。18・19・20・21番の訴訟上の和解で支払いますという和解が生じたのですが、2回連続未払いですので強制執行へ、またはその人を訴えるというかたちの手段を弁護士の先生にご相談させていただいた後、処理させていただくようになっております。あと和解させていただいたものにつきましては、順調に支払っていただいております。</p> <p>続いて、縦の1枚もののプリントですが、9月22日に教育長名で全未納者に対しまして納入の依頼をかけました。その中で、払っていただいていない方を対象に今後どうするかということで学校現場と協議した結果、右から2列目、今後の対応策ということで、赤文字で書いておりますのが、昨年と同様に市長名で督促して、順次法的手続きに進めてまいりたいと思っております。教育長名で納入通知を出した額につきましては1,160,901円、そのうち市長名で督促予定額が763,751円ということでございますが、今後、月末に未納が増えてくると思いますので、順次この額は変更していくと考えております。以上です。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございました。他に何かございますか。</p>
坂本次長	<p>はい、図書館からのお知らせです。図書館まつりを11月23日(水)の祝日に行います。チラシをお渡ししておりますが、9時からブックリサイクル、13時から図書館見学ツアー、13時40分から篠笛の調べと民話の語りを実施する予定ですので、どうぞご参加ください。</p>
三木委員長	<p>ありがとうございます。他に何かございませんか。</p>
木村スポーツ文化課長	<p>お手元に封筒をお渡ししたのですが、11月26日(土)に平山郁夫展の開展式が9時から開催されますので、委員さん方にはご出席をお願いいたします。</p>
関総括次長	<p>ご案内です。先程、こころのことばコンクール第6回の作品集が出来上がりましたので、お目通しをいただけたらと思っております。なお、20日(日)に表彰式及び優秀作品の発表を行いますので、お時間とれましたら、ご参加をいただけたらと思います。よろ</p>

<p>三木委員長</p>	<p>しくお願いいたします。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>他に何かございますか。</p> <p>「いじめ調査の考察と対応」というのを7月末に市内の全小・中学生を対象に行い、それを市の生徒指導部会の方で考察を行っております。いじめが無いということはないので、残念ながらその対応等について、色々書いておりますので見ていただきたいと思います。</p> <p>なお、お手元に10月分の生徒指導関係の資料をお配りしていると思います。不登校について、昨年度よりも3名増加しています。その表を見ていただけたらと思うのですが、中学校は減少傾向というのか、同時期と比べると減っていますが、小学校が昨年度に比べて非常に増えています。これは、昨年度まで内科的疾患で休んでいたのを再度見直して、不登校という傾向であることを示していたので、小学校が増えてきている。その見直しをすることによって、その対応が考えられるのではないかなと思います。次のページを見ていただきたいのですが、そのようなことから児童生徒数の規模から不登校生の発生率を見た時に、中学校では泉川中学校の265名に対して11名という4.15%というのは突出しているのではないかなと捉えています。また、小学校では高津小学校の0.54%、若宮小学校の2.11%、泉川小学校の0.81%、泉川校区の小・中学校、それと高津小・若宮小。</p> <p>それを踏まえて、次のページのなぜ不登校になっているかというところで、泉川小学校の2年生、高津小学校では3年生、若宮小学校は4年生というような今まで小学校では高学年からが多かったのですが、小学校の低・中学年から不登校になっているという状況になっております。</p>
<p>三木委員長</p>	<p>はい、ありがとうございました。その他、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次回の定例会の開催日を決めさせていただきたいと思っております。12月の定例会は、12月1日（木）の16時より開催させていただきます。</p> <p>それでは、平成23年第11回新居浜市教育委員会定例会を一度、閉会いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>

<以下、非公開にて審議>

新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。

委員名

委員名